

1 単元 市の様子

2 教科の目標

市の地理的環境を理解し、自分たちが生活している市の様子に関心をもつ。また、市の特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを調べ、市の様子は場所によって違いがあることを考え、適切に表現することができる。

3 活用したICT

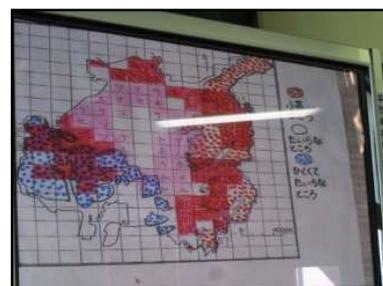
電子黒板

4 活用したICTの特性

- ・ 資料を大きく映し出して見せることで、子どもの視線を集めることができる。(電子黒板)
- ・ 書き込み機能や拡大機能を、子どもが調べたことや考えたことを発表する場面で活用させることで、聞き手に分かりやすく発表することができる。(電子黒板)

5 実践の様子

① 「じゅうたくの多いところ」「工場の多いところ」など、土地がどのように利用されているかを示した地図と、「道路の様子」「土地の高低の様子」などの情報を写し取ったクリアシートを資料として用意し、電子黒板で地図を表示し、そこにクリアシートを重ねて見せた。(資料①)



資料① 地図とシートを重ねたところ

② 子どもをグループに分け、地図とクリアシートを配布した。子どもは自分の予想を基にシートを選んで地図に重ね、それを見て気付いたことを伝え合った。



資料② 電子黒板で発表の練習をする子ども

③ 発表する内容を決め、電子黒板を使った発表の練習を行った。聞き手に分かりやすい発表になるよう工夫を考えさせると、子どもは書き込み機能や拡大機能を使った資料の見せ方について話し合っていた。(資料②)

④ 「発表の仕方」と「発表の内容」の2つに注目させて中間発表会を行った。それぞれのグループの発表の良いところを見付け合った。1つ発表が終わる毎に意見を出し合うようにした。

⑤ 中間発表会で出された意見を基に、各グループが発表の仕方と内容を更に充実させようとしていた。

6 成果と課題

- ①の場面で電子黒板とクリアシートを活用したことで、資料の使い方を子どもに理解させることができた。これにより、「自分も使ってみよう」という子どもの意欲を引き出すことができた。
- 電子黒板の機能を活用した発表活動をさせたことで、子どもが「分かりやすい発表にするための工夫」について考えることができた。その結果、聞き手の立場に立って考えるなど、より良い発表を目指そうとする姿が見られた。
- 注目したいところに丸を付けるグループがあったが、丸を付ける正確さや、色の使い方が不十分などところが多かった。中間発表会の時にこうした問題を提起し、子どもに話し合わせておけばより分かりやすい発表をさせることができたと感じた。